

令和3年6月定例会 一般質問発言通告一覧

令和3年6月22日

【一般質問】

令和3年6月22日（火）午前9時30分から（発言者5人）		
順	質 問 者	質 問 事 項
1	梅 原 哲 史 (創政会)	森林整備 ○ 経営管理意向調査実施計画を行う区域の優先順位に防災の視点を ・ 機構改革の目的と今後の課題は ・ 森林環境譲与税の執行状況は ・ 森林経営管理制度開始後の評価は ・ 京都森林経営管理サポートセンターの利用状況は ・ 山林の土地の調査における森林環境譲与税の使途は ・ 経営管理意向調査実施計画を行う区域の優先順位は ・ 災害防止の観点を加味する必要は 教育 ○ 綾部幼稚園の今後の方針について ・ 令和4年度園児募集及び要項変更の有無は ・ 入園希望者が3年連続5人未満の想定は 地域共生社会 ○ 地域共生社会の実現に向けて今後の取組は ・ 車いす駅伝発祥の地顕彰事業に対するご所見は ・ 綾部市パラリンピック採火式の取組は ・ 第4期綾部市障害者計画の特徴は ・ 本市における地域共生社会のイメージは
2	森 義 美 (公明党)	保健福祉 ○ 新型コロナウイルスワクチン接種について ・ 本市の接種状況は（医療従事者・介護従事者・65歳以上の高齢者等）また副反応等はどうか ・ 高齢者の2回目接種を7月末で終える計画だが接種体制（府からの支援含む）と見通しは ・ 64歳以下の接種計画と12歳以上から15歳も対象になったが対応は ・ コールセンターの体制強化は図られているのか ・ 集団接種会場では、視覚・聴覚障害者への配慮はされているのか ・ 集団接種会場への送迎バス運行計画と予約状況は ・ 寝たきり等自分の意志を伝えにくい人への対応は 商工労政 ○ 経済支援について ・ 市内企業・飲食店・個人事業主等の状況は ・ 現在の支援金、助成金等のメニューと活用状況、今後の景気・経済回復への考えは 市政 ○ 奨学金返還支援について ・ 本市における奨学金返還支援事業の推進の考えは

3	片岡英晃 (民政会)	ワクチン接種 ○ 新型コロナウイルスワクチン接種について ・ 予約時のトラブル等はなかったか ・ 集団接種が始まったが、接種時のトラブル等はないか ・ 接種会場の人員をどのように確保しているのか ・ 64歳以下のワクチン接種等、今後のスケジュールは 歴史文化 ○ 山家城址国史跡指定に向けて ・ これまでの調査など状況は ・ 地元に対しての説明状況は ・ 国史跡指定に向けて、今後のスケジュールは 行政 ○ 機構改革について ・ 行政デジタル推進課を設置した経過は ・ 行政デジタル推進課が果たすべき役割とは ・ 環境企画課を設置した経過は ・ 環境企画課が果たすべき役割とは 防災 ○ コロナ禍での避難行動について ・ 垂直避難の推奨・車中避難の実施についての考えは ・ 自助の重要性を広報する必要もあるのでは ・ 防災アプリの導入について考えは
4	搦頭久美子 (日本共産党)	コロナ感染の防止 ○ 安全で迅速なコロナワクチン接種とPCR検査の拡充でコロナ封じ込めを ・ 接種状況、今後の計画は ・ 副反応の情報収集と情報提供を ・ 国・府の大規模集団接種への市民の接種状況と重複を防ぐ手立てを ・ PCR検査の拡充を 「コロナ災害」と市の役割 ○ 事業所の現状に沿った支援策の充実を ・ 市内の経済状況と事業所支援策の執行状況は ・ 更なる支援策の充実を ○ 生活困窮に対する市の相談・支援策充実を ・ 市福祉行政と自立相談支援事業の連携 ・ 気軽に利用ができる生活保護制度へ ○ コロナ禍で緊張が続く医療・介護・福祉関係への支援を ・ 減収への補助を ・ 在宅要介護者の感染と関係機関の連携を ○ 市と保健所との情報共有と相互支援を ・ コロナ封じ込めには府保健所等との連携強化が必要ではないか ・ 綾部市に保健所機能の再構築を アスベスト ○ 民間建築物に対するアスベスト調査・除去の補助制度創設を

		・ アスベスト患者の現状は ・ 国の補助制度内容は ・ 国への制度充実要望と市独自でも検討を
5	種 清 喜 之 (民政会)	まちづくり ○ アフターコロナと持続可能なまちづくり ・ アフターコロナのまちづくりにおけるポイントは ・ 地域コミュニティの活性化策は ・ 公民共創によるまちづくりを ・ 本市の関係人口増加の取組は ・ 定住施策に加えデュアルライフ（二地域居住）の推進を ○ 地方都市におけるテクノロジー活用の有効性 ・ 地方都市におけるテクノロジー活用に対する本市の見解は ・ テクノロジー活用に向けた今後の取組は ・ 多様なパートナーシップによる推進を ○ デジタルヘルスを活用したまちづくり ・ デジタルヘルスを活用した医学を基礎とするまちづくり（MBT）の推進を

【一般質問】

令和３年６月２３日（水）午前９時３０分から（発言者４人）			
順	質 問 者	質 問 事 項	
6	本 田 文 夫 (民政会)	農政 ○ 水田の有効活用について ・ 昨年の作付状況について（主食用米とその他作物の状況） ・ 主食用米の価格の推移について ・ 更なる水田の有効活用の必要性について ○ 農作業時の事故について ・ 綾部市内の農作業時の事故の現状は ・ 事故防止対策は 道路 ○ 市道向田線改修について ・ 市道向田線改修の進捗状況について ・ 今後の計画について 教育 ○ 教育長の所信表明について ・ 学校教育・社会教育の充実に向けた教育長の所信を問う ○ 複式学級について ・ 今年度からスタートした志賀小学校の複式学級について ○ コウノトリについて ・ 市内でコウノトリが複数見かけられるようになったが、今の状況は ・ 新たに繁殖のための人工巣塔が設置されたが、市としての考えは 消防 ○ 二酸化炭素消火設備誤作動事故について ・ 綾部市内の二酸化炭素消火設備の設置状況は ・ 今回の誤作動事故に伴う防止対策は	
7	中 島 祐 子 (日本共産党)	公共施設管理、教育 ○ 公共施設や学校等における農薬使用について ・ 公園や児童館など子どもがよく利用する公共施設や学校における農薬の使用状況は ・ 農薬の使用時の健康・安全への配慮状況は ・ 子どもがよく利用する公共施設や学校での農薬、特に除草剤の使用はやめるべき 教育 ○ G I G Aスクールと新たな情報モラル教育（デジタル・シティズンシップ教育）について ・ G I G Aスクールの取組状況は ・ 情報モラル教育の内容とその効果は ・ デジタル社会の良き市民となるための新たなデジタル・シティズンシップ教育の取組を	

		男女共同参画、教育 ○ 男女平等社会の実現と「生理の貧困」について ・ 市内における「生理の貧困」の把握状況は ・ 市職員における生理休暇の取得状況は ・ 学校における生理用品の配置と利用状況は ・ 学校や公共施設トイレへの生理用品の設置を
8	柳 原 秀 一 (創政会)	学校教育 ○ 小学校の複式学級と学校の適正配置について ・ 複式学級の見解と対策について ・ 学校の適正配置について ・ 子育て世代を呼び込むための施策について 安心・安全 ○ 避難情報の見直しについて ・ ガイドラインが改正された理由について ・ 避難情報の市民周知について ・ 避難所の変更について ・ 綾部市地域防災計画の見直しについて ・ タイムラインの見直しについて ・ 綾部市防災訓練の実施について
9	渡 辺 弘 造 (創政会)	防災 ○ 防災ネットワーク ・ ネットワークの組織数、支援は ・ 活動状況は ・ 今年度の事業計画は ・ コロナ禍における避難計画は 教育 ○ 学校教育 ・ コロナ禍における授業状況は ・ 学校内の子ども様子は ・ 今後の教育、生活指導の方針は

【一般質問】

令和３年６月２４日（木）午前９時３０分から（発言者５人）			
順	質 問 者	質 問 事 項	
10	酒 井 裕 史 (民政会)	教育 ○ 学校教育のデジタル化について ・ コロナ禍での小学校のプログラミング教育の実施状況について ・ 今年度から始まった中学校でのプログラミング教育について ・ G I G Aスクール構想で配布されたタブレット端末について ・ 学校教育のデジタル化の今後について ○ 放課後学級の取組について ・ 将来の放課後学級でのW i - f i 設備対応について ・ 夏季休暇中の昼食の状況について ・ 放課後学級の空調設備の整備状況について ・ 春季のみ、冬季のみの放課後学級開設の検討状況について	
11	井 田 佳代子 (日本共産党)	防災 ○ コロナ禍での避難所と一人一人の避難を考えるために ・ 市民センターでのワクチン接種が行われている間の避難所機能は ・ 新ハザードマップを使い、感染対策を考慮した一人一人が取るべき避難の確認を ・ 京都府が３密回避の分散避難として車中泊避難を加えたが、市でも準備が必要では ・ 新たな福祉避難所の確保が必要では ・ 避難所ごとに資材の配置が必要では ○ 大規模地震に備えるために ・ 京都府戦略的地震防災対策推進プランの中に、中丹地域は住宅の耐震化が低いとあるが、どのように進めるのか ・ 耐震シェルターを取り扱う業者もある。助成を考えてはどうか 環境 ○ プラスチックごみリサイクルとごみの排出削減に向けて ・ 「プラスチック資源循環促進法」が成立したが、今後市としての取組の予定は ・ 可燃ごみに含まれる紙類と同様に、生ごみを減らす仕組みが必要ではないか	
12	藤 岡 康 治 (民政会)	エネルギー ○ ゼロカーボンシティへ ・ 目標や指針は ・ ゼロカーボンシティ表明は ・ C O 2（二酸化炭素）排出削減の努力は ・ 企業や大学との開発は ・ 水素エネルギーへのシフトは ○ エネルギーの地産地消について ・ 公共施設への再生可能エネルギーの導入について ・ 卒F I Tの活用について ○ 小水力発電について ・ 現在の予定や取組は ・ 将来展望は	

		○ 再生可能エネルギーの大規模開発について ・ 稼働中や終了後の環境問題について ふるさと納税 ○ ふるさと納税の推移について ・ ふるさと納税サイトの登録数は ・ 令和２年度の実績と分析は ・ 返礼品の種類とベスト３は ○ これからのふるさと納税について ・ 品物から体験型へ開発は ・ 返礼品の協力企業発掘を ・ 特別市民との連携は
13	吉 崎 久 (日本共産党)	建設 ○ 綾部市法定外公共物管理条例第９条占用料減免制度について検討を ・ 綾部市法定外公共物管理条例に基づき占用料を徴収した件数、徴収額は ・ この条例の対象となる箇所数と該当する箇所への周知は ・ 建築確認申請を出すと、占用が許可条件になる。これでは理解されないのでは ・ 河川に橋をかけて生活する場合も同様の対応とするのか ・ 第９条で減免規定があるが、この見直しを行うべきでは 行政運営 ○ デジタル化は市民にとって何をもたらすのか ・ 「デジタル改革関連６法」として「デジタル庁設置法」が制定された。デジタル庁ではどんな業務が行われるのか ・ 今年４月から庁内機構に行政デジタル推進課を設置した。その内容は。今後の人事配置の検討は ・ 国が示す自治体の情報システムの共同化・集約により、自治体の施策判断が影響を受けることはないのか ・ 「非識別加工情報」で個人情報保護されているのか ・ 本市の個人情報保護条例の全国共通化は、どんなスケジュールで行うのか ・ ４月にＬＩＮＥ社での利用者情報の流出が発覚。自治体業務でも関係があるのでは ・ マイナポータルの情報連携に問題はないのか ・ 対面による行政サービスが基本ではないか 農業振興 ○ これ以上の耕作放棄地を生まない対策を ・ ２０２０年農林業センサスの公表は ・ ２０２０年の米価は。また今年の生産計画は ・ 米価は市場任せのため大幅な落ち込み。下支えが必要では ・ 耕作放棄地への対策は各種実施されているが、先が見えない。どう解決していくのか ・ 有害鳥獣被害防止対策で生息数に見合った被害防止計画が必要。現状の対策は ・ 猟友会の現状と狩猟免許取得への支援対策は

14	安 藤 和 明 (民政会)	伝統産業 ○ 黒谷和紙の現状と振興について ・ 黒谷和紙の現状と協同組合の体制強化について ・ 伝統的工芸品産業の指定の現状と方策について ・ 黒谷和紙工芸の里の今後について ・ 楮の生産量の確保について ・ 黒谷和紙振興条例制定について 地域活性化 ○ 過疎地域の担い手不足と労働力確保について ・ 人口減少と過疎高齢化による水源の里地域の労働力不足の現状は ・ 特定地域づくり事業協同組合制度の概要と今後の取組について
----	------------------	--